

ONCC公開文化講座

「大伴家と万葉集」開講しました！！

講師：大森 亮尚 先生

会場：関西アーバン銀行豊中支店 4階ホール

期間：6月7日～12月6日（第1木曜日）：全6回

講師は古代民俗研究所代表で、怨霊研究を通じて日本人とは何かを問い続けておられる大森亮尚先生。

日本文化、日本文学の出発点となった最古の歌集『万葉集』は序文もなく編者・成立時も不明であり、その設立の謎を第1回目の講座で追っていただきました。

「上代文学の最高傑作の『万葉集』という全20巻、歌数4516首の歌集がいったい、いつ、誰の手によって何のために成されたものかは諸説あるが、家持の元に集められ、彼が手を加えていることは間違いない。雄略天皇の巻頭歌から始まり、天平宝字元年正月元旦の家持の最終歌をもって閉じられている」。

「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事」巻20-4516

6回の講義で家持の父の大伴旅人・叔母の坂上郎女・家持の友人たちを語っていただきます。



猪谷理事長 開講あいさつ



大森 亮尚先生 講義風景

